

NEWS INDEX

- SOMPOHD、損保ジャパン BM社経緯調査状況を公表 (2面)
- 英国 自動車保険が厳しい時期に直面 (8面)
- MS&ADインターリスク総研 被害認定調査の計画策定支援 (3面)
- 生保労連 第55回定期大会開催 (10面)
- アリアンツ・コマーシャル グローバル・リスク・ダイアログ① (6面)
- 「ひと」パラクライング世界大会で数々の優勝 會田祥氏 (12面)



日刊(但土曜 日曜 祝日休刊)

発行所

●●● 保険毎日新聞社

東京都台東区台東4丁目14番8号
シモジパークビル2F

〒110-0016

電話 03(5816)2861(代表)

振替 00140-6-70860

© 保険毎日新聞社



FORWARD 2026

SCOR's Strategic Plan for 2024-2026

Driving value creation. Shaping the reinsurer of tomorrow.

アフラック 「手軽に備える医療保険EVEEシンプル」発売

高額療養費前提に合理的保障提供

アフラックは、高額療養費制度も含めた公的医療保険制度を前提に、月々の支払いが必要となる医療費の自己負担額に備えることができる新商品「手軽に備える医療保険EVEEシンプル」を9月19日に発売する。保障内容のシンプルさ・分かりやすさや保険料の手頃さを追求し、公的医療保険における高額療養費制度を踏まえ、入院・手術・放射線治療を行った場合の自己負担額に応じた給付金を毎月支払う合理的な保障内容などが特長。

の入院の限度は4カ月。二つ目の特長は「三大疾病に対する手厚い保障」で、治療期間が長くなることが多い三大疾病に対する備えとして「三大疾病無制限治療特約」を新設。「三大疾病保障料払込免除特約」や「三大疾病一時金特約」には上皮下内新生物の保障を追加することができる。

三井住友海上が将来宇宙輸送システムと連携協定
宇宙輸送での保険活用で共同検討開始

宇宙往還を可能とする輸送システムの実現を目指すスタートアップ企業(株)東京都中央区、畑田康二(代表取締役)は8月21日、三井住友海上との間で包括連携協定書を締結し、今後、宇宙輸送に関する事業開発と技術開発、ならびに保険活用に関する共同検討を開始すると発表した。

将来宇宙輸送システムは、毎日、人や貨物が届けられる世界。そんな当たり前を、宇宙でも。をビジョンに掲げ、完全再使用型の単段式宇宙往還機(SSTO)を用いた高頻度宇宙輸送を2040年代に行うことを最終目標とし、今後5年程度で再使用型の小型宇宙輸送機を開発することを目指している。その実現には、開発の初期段階から、安全性・信頼性を確保した効率的な運用の仕組みについて検討を行う必要があるという。

三井住友海上は1975年に日本で初めて宇宙保険の引受を開始。以降、世界初となる「月保険」の提供や、「JAXA宇宙イノベーションパートナーシップ(J-SPARC)」の枠組みの下、JAXAと「宇宙旅行保険事業」の共創活動を開始するなど、宇宙保険に関する積極的な取り組みを行っている。今回両社は、将来宇宙輸送システムが開発する再使用型の宇宙輸送機について、事業と技術の両面におけるさまざまな事業リスクの評価とマネジメントに関して、共同で検討していくことで合意した。

具体的な検討内容として、①宇宙輸送事業に伴う各種リスクの評価とマネジメントに関する②宇宙輸送機の開発と運用に伴う各種技術リスクの評価とマネジメントに関する③宇宙輸送の事業と技術のリスクを移転する各種保険に関する④宇宙輸送と当該領域の保険の社会実装に関することの一環として、2023年9月7日(金)から9月9日(日)までの3日間、東京・有明コロシアムにて「宇宙輸送と当領域の保険の社会実装に関すること」の4点を挙げていく。

トーア再保険 23年度第1四半期決算 連結純利益は45億円増の80億円

トーア再保険が8月29日に発表した2023年度第1四半期決算によると、連結業績では、経常収益は、保険引受収益が前年同期に比べ133億円増加の975億円(うち正味収入保険料647億円)、資産運用収益が

前年同期に比べ33億円増加の85億円、その他経常収益が1000万円となった結果、前年同期に比べ166億円増加の1061億円となった。一方、経常費用は、保険引費用が前年同期に比べ128億円増加の900

億円で、うち正味支払保険金752億円、資産運用費用が前年同期に比べ25億円減少の8億円、営業費及び一般管理費が前年同期に比べ1億円減少の38億円、その他経常費用が7600万円となった結果、前年同期に比べ101億円増加の948億円となった。

これらの結果、経常利益は、前年同期に比べ65億円増加の112億円とな

った。経常利益に特別損失、法人税等合計を加減した親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ45億円増加の80億円となった。第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ93億円増加し9150億円。また、第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ338億円増加し2301億円とな

った。単体業績では、経常収益は、保険引受収益が前年同期に比べ141億円増加の767億円(うち正味収入保険料408億円)、資産運用収益が前年同期に比べ15億円増加の54億円、その他経常収益が1000万円となった結果、前年同期に比べ157億円増加の821億円となった。一方、経常費用は、保険引受費用

が前年同期に比べ127億円増加の678億円(うち正味支払保険金584億円)、資産運用費用が前年同期に比べ3100万円増加の1億円、営業費及び一般管理費が前年同期に比べ2億円減少の22億円、その他経常費用が3300万円となった結果、前年同期に比べ125億円増加の701億円となった。

これらの結果、経常利

益は、前年同期に比べ31億円増加の119億円となった。経常利益に特別損失、法人税等合計を加減した四半期純利益は、前年同期に比べ19億円増加の85億円となった。第1四半期末の総資産は、前期末に比べ6億円減少し5790億円。また、第1四半期末の純資産は、前期末に比べ298億円増加し1926億円となった。

は、財務基盤を一層強化するもので、将来的な株主還元や持続的な利益成長のための投資等の施策に対する柔軟な対応に資するものとしている。

▽社債の名称：第3回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)▽発行総額：1000億円▽償還期限：2053年9月7日▽利率：(1)2023年9月7日(金)から33年9月7日(金)までは年1.910%(2)33年9月7日(金)以降は5年国債金利に2.277%を加算したもの(5年ごとにリセット)▽払込期日：23年9月7日▽格付：A+

・定額タイプ・標準体保険料率の保険料が、20歳男性2597円、同女性3091円、30歳男性3332円、同女性3998円、40歳男性4901円、同女性4632円、50歳男性8351円、同女性6742円。

アリアンツ・コマーシャル 「グローバル・リスク・ダイアログ」最新号紹介

Alianz Commercial (Alianz Commercial) (通称名を変更) マーシャル7月24日付でAGCS (Alianz Global Corporate & Specialty) からの最新号を発表した。その中から、エ

ンターテインメント業界の最新の傾向、データ漏洩の対応、D&O(会社役員賠償責任保険)市場への適応とキヤブティブ保険について連載する。(9面)

かんぽ生命 今後社債1000億円発行

かんぽ生命は8月10日付で国内公募劣後特約付無担保社債の発行に関する決議を行うとともに、国内公募劣後特約付無担保社債の発行に関する訂正発行登録書を開発財務局長に提出、その後、9月1日に発行条件を発表した。

今回の発行については、財務基盤を一層強化するもので、将来的な株主還元や持続的な利益成長のための投資等の施策に対する柔軟な対応に資するものとしている。

▽社債の名称：第3回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)▽発行総額：1000億円▽償還期限：2053年9月7日▽利率：(1)2023年9月7日(金)から33年9月7日(金)までは年1.910%(2)33年9月7日(金)以降は5年国債金利に2.277%を加算したもの(5年ごとにリセット)▽払込期日：23年9月7日▽格付：A+